

教科 Subject	家庭科		科目 Course	家庭基礎	学年 Grade	2	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新家庭基礎 (大修館)			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			生活を主体的に創造する力を育て、これからの社会の中でともに生きる多角的な視点を養う。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト60%、提出物20%、その他20%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	人生をみつめる。		人の一生と発達課題、生活設計を考える。			
		2						
		3	家族をみつめる。		家族と家族関係について理解する。 家庭生活や家族に関わる法律(民法)に関心を持つ。 家庭生活と福祉との関係を理解する。 これからの家庭や社会のあり方を考える。			
	5	4						
		5						
		6						
6	7	こどもを育てる。		こどもの成長発達の特徴を理解する。 子供の人間形成と親の役割との関連を理解する。				
	8							
	9							
7	10	おもちゃ作り		乳幼児の発達段階を理解し、年齢に合ったおもちゃを製作する。				
	11	おやつ作り		乳幼児に必要な栄養素を知り、手作りのおやつを作ることができる。				
	12							
2 学期	9	13	高齢者と生きる。		高齢者の心身の特徴を理解する。 日本の高齢社会の特徴と高齢者福祉について理解する。			
		14						
		15						
		16	食生活を営む。		食生活の現状を把握する。 5大栄養素の特徴とそれ多く含む食品について理解する。 食品の選択と取り扱いについて理解する。			
	10	17						
		18						
		19						
		20						
	11	21	調理実習		和洋中の料理の特徴を理解する。 和調理の技術を身につける。			
		22						
		23	衣生活を営む。		計画的な衣服生活について理解する。 被服材料や被服の手入れの方法を理解する。			
		24						
12	25	被服製作。		基礎的な縫製技術の習得する。 被服を製作する。				
	26							
3 学期	1	27	資源を生かす。		経済の仕組みと家計の関係を理解する。 現代の消費生活の特徴を理解する。 消費者の権利と責任を理解する。 我々の消費活動が循環型社会の関係することを理解する。			
		28						
		29						
	2	30						
		31						
		32	住生活を営む。		現代の住生活の特徴を理解する。 健康で安全な住生活のための条件や管理を理解する。			
	3	33						
		34						
		35						

履修者へのメッセージ Message for Students

実習がありますので、忘れ物をしないように、しっかりと授業の準備をして授業にのぞむようにして下さい。

教科 Subject	情報		科目 Course	社会と情報	学年 Grade	2	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	高校社会と情報 (実教出版)			副教材Additional Text /materials	高校社会と情報学習ノート			
科目の目標 Course Objectives			情報の考え方の基礎となる科学や技術を学び、問題を解決する能力を身につける。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト50% 提出物40% その他10%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents	到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	情報社会	情報と情報社会とは 社会の変化と個人の責任 メディアとその特徴				
		2						
		3						
	5	4	コミュニケーション	個人情報とその保護 メールの利用 共通の取り決め				
		5						
		6						
6	7	コンピュータリテラシー	インターネットの仕組み インターネットのサービス クラウドコンピューティング インターネット検索・メール実習【PC】 文書作成ソフトの基礎【PC】 ポスター作成【PC】					
	8							
	9							
2 学期	9	10	SGHアーカイブズ 情報安全	SGHアーカイブズの活用【SGH】 個人による安全対策 組織による安全対策 安全のための情報技術 暗号化 暗号化の仕組み 法規による安全対策 知的財産権の概要 法規による安全対策				
		11						
		12						
	10	13	コンピュータリテラシー	産業財産権 著作権 著作権の利用 プレゼンテーションソフトの基礎【PC】 表計算ソフトの基礎【PC】				
		14						
		15						
11	16	コンピュータリテラシー	デジタル情報の特徴 数値や文字の表し方 圧縮の仕組み					
	17							
	18							
3 学期	1	19	問題解決	情報の収集 分析のための工夫				
		20						
		21						
	2	22	問題解決実習	コンピュータを総合的に利用した実習【PC】				
		23						
		24						
3	25	問題解決実習	コンピュータを総合的に利用した実習【PC】					
	26							
	27							

履修者へのメッセージ Message for Students

高度情報化社会で積極的に情報を活用できるように、様々な実習を通して、コンピュータの活用技術や知識を身につけます。授業に取り組む姿勢を重視しています。新しい知識や用語を正確に理解することや、1つ1つの課題を丁寧に取り組むことなどの点を意識しながら、授業に取り組みましょう。